

笠岡市立城見保育所 年間保育計画

4歳児		笠岡市立城見保育所 年間保育計画				
保育目標		○園生活に慣れ、日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ○先生や友達と関わりながら、一緒に活動する楽しさを味わう。 ○いろいろな遊びに興味をもち、進んで取り組む中で満足感を味わう。		養護	○集団生活の中で、安全で健康な生活ができるように一人一人に応じた適切な援助をする。 ○一人一人の園児の思いを受け止め、楽しい雰囲気の中で安心して過ごせるようにする。	
年間区分		I期(4月・5月)	II期(6月・7月・8月)	III期(9月・10月)	IV期(11月・12月)	V期(1月・2月・3月)
ねらい		○新しい生活に慣れ、喜んで登所する。 ○生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。 ○春の自然に関心をもち、動植物との触れ合いを楽しむ。	○夏の生活に必要な習慣を徐々に身につける。 ○友達とかかわりながら、夏の遊びを楽しむ。 ○身近な夏の自然に触れ、親しみをもつ。	○いろいろな運動遊びを喜んでし、様々な身体の動きを楽しむ。 ○友達と関わる中で、自分の思いを動きや言葉で表し、遊びを楽しむ。 ○身近な秋の自然に親しみ、興味や関心をもつ。	○遊びや生活の中で、友達と関わりながら遊ぶ楽しさを味わう。 ○身近な自然と十分にふれあい、興味をもって見たり触れたり、遊びに取り入れたりする。 ○自分たちの生活の場を整えたり準備したりする。	○いろいろな遊びに興味をもち、保育者や友達との関わり自分の力を発揮して、活動に取り組む。 ○身近な冬の自然現象に触れる中で様々な事象に関心をもち、 ○進級することへの期待をもつ。
育てたい子どもの姿	健康	・基本的な園での生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ・園の遊具や用具に親しみ、安全な遊び方や扱い方を知る。	・のびのびと身体を動かし、様々な遊びを楽しむ。 ・夏ならではの生活の仕方を知り、自分でしようとする。	・身体を動かしたり休息したりして、健康な生活に必要な習慣を身につける。 ・生活のきまりや遊びのルールを守って過ごす。	・簡単なルールのある遊びに喜んで参加し、友達と身体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・うがい・手洗い・衣服の調節などを進んで行う。	・自分の健康に関心をもち、様々な食べ物を進んで食べる。 ・生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。
	人間関係	・先生や友達とのやりとりを楽しみ、親しみをもつ。 ・友達と同じ事をしたり触れ合ったりして楽しむ。	・友達に親しみをもち、同じことをしたりかかわったりして遊ぶ。 ・簡単なルールのある遊びを楽しむ。	・友だちと一緒に運動する楽しさを味わう。 ・簡単なきまりやルールの大切さに気づく。	・友達と共通の目的をもって遊ぶ。 ・友達と一緒に遊具や用具を交替して使ったり順番を待ったりする。	・友達と考えを出し合って遊びを進めようとする。 ・年長児と関わって遊ぶ中で、憧れの気持ちや進級への期待をもつ。
	環境	・春の自然や動植物に興味をもち、見たり触れたりすることを楽しむ。 ・野菜や花を植えたり、世話をしたりする。	・水、砂、土を使って様々な遊び方を試したり感触を味わったり不思議さを発見したりして楽しむ。 ・夏野菜を育てることに興味をもち収穫や食べることを楽しむ。	・園内外の秋の自然に触れ、取り入れて遊ぶ。 ・いろいろな運動遊具に関心をもち、繰り返しやってみようとする。	・遊びの中で集めたり、数えたり、分けたり並べたりすることに関心をもち、 ・初冬の自然や年末の生活に変化のあることに気づく。	・いろいろな伝承遊びを楽しむ。 ・遊びを通して、文字や数量に関心をもち、 ・冬から春にかけての自然事象に興味関心をもつ。
	言葉	・先生の話の聞いたり、自分の気持ちを伝えようとしたりする。 ・絵本や紙芝居などの内容や物語に興味をもち楽しむ。	・日常生活や友達との遊びの中で必要な言葉の使い方に気づく。 ・友だちと一緒に絵本や童話など、繰り返しの面白さを楽しみ、興味をもって見たり、聞いたりする。	・したこと、見たこと、感じたこと、考えたことを保育者や友達に話す。 ・絵本や童話に親しみ、興味をもって聞き、想像することでお話の世界を楽しむ。	・自分の気持ちを友達に伝え、友達の話も聞こうとする。 ・絵本・紙芝居・視聴覚教材などを喜んで見たり聞いたりする。	・友達と互いに思いを伝え合って遊ぶ。 ・自分が思ったり考えたりしたことを言葉で相手に伝えようとする。
	表現	・音楽やリズムに合わせて、動いたりやり取りしたりする。 ・思い思いに描いたり、作ったりすることを楽しむ。	・身近にある素材や用具に親しみ、描いたり作ったりすることを楽しむ。 ・友達と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。	・いろいろな材料を使って遊びに必要なものをつくる。 ・音楽に合わせて身体を動かしたり感じたままを自由に表現したりする。	・色々な素材を自分のイメージに合わせて見立て、工夫して使う。 ・歌や簡単な合奏をみんなでする楽しさを味わう。音やリズムをみんなで合わせる楽しさを知る。	・遊びに必要なものを工夫して描いたり作ったりして、それを使って友達と遊ぶ。 ・作品を見たり飾ったりすることに興味をもつ。
環境構成(☆)と援助(○)の工夫		☆遊具や用具の数を十分用意したり、表示の仕方を工夫したりするなど自分から遊びを始められるような環境を整える。 ☆身の回りの始末や片付け等をやってみようという思いがもてるように、手順や場所を分かりやすく表示する。 ○一人一人の子どもを温かく受け止め触れ合う中で、安心して園生活が送れるよう丁寧に関わっていく。 ○個人差に応じて、身の回りのことをしようとする気持ちを支える。	☆水や砂・土などの感触を十分に味わい、解放感を楽しめるよう様々な素材や道具を準備する。 ☆自分から遊びや活動に取り組めるような環境を構成し、一人一人の遊びや興味の変化を把握して再構成する。 ○天候や気温に応じて、子ども達の体調に配慮し、休息や水分補給が行えるようにする。 ○友達との接し方や遊びへの参加の仕方が分かるよう、場面に捉えて保育者が仲立ちとなり援助する。	☆園内の整備と遊具の点検を行い、身体を動かしたくなる環境をつくり十分に運動が楽しめるようにする。 ☆一人一人がそれぞれの興味に応じた活動に取り組めるようにする。子ども同士の模倣や認め合いを大切に、表現する意欲や創造性が育まれるようにする。 ○運動への意欲的な取り組みに「できた」「できない」ではなく、一人一人の意欲と家庭を認め、ほめていく。 ○自分の考えを言葉で伝えられるように、また、受け止めてもらった喜びが味わえるように橋渡しをしたり代弁したりする。	☆興味をもったことが様々な方法で表現できるように、用具や材料を用意しておく。 ☆自然物に興味をもち、遊びに取り入れられるように、身近に置いておく。 ○様々な表現が楽しめるよう、一人一人の思いやイメージを受け止め、共感する。 ○トラブルが生じた場合は、お互いの気持ちを受け止めたり、一緒に考えたりしながら相手の思いにも気づくことができるようにする。	☆年末年始の休み明けは、家庭での経験を話したり聞いたりする。 ☆冬の自然の様子や春の訪れに気づくように、身近な自然に触れる機会を意図的にもつ。 ○自分の思いを伝えたり友達の思いに気付いたり互いに共感したりできるよう、場をとらえて援助していく。 ○年長児へのあこがれの気持ちを大切に、様々な準備を通して、自信や満足感が味わえるようにしていく。
主な行事		進級式・入園式・家庭訪問・春の遠足 小学校との合同運動会	プール遊び・七夕・プレイナイト	ふれあい運動会・秋の遠足・ハロウィンパーティ	生活発表会・クリスマス会	お店ごっこ・豆まき・ひな祭り・お別れ遠足・修了式